



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 比例縮尺財務諸表と総資産回転率

5

## 比例縮尺財務諸表とは何か？

比例縮尺財務諸表とは、財務諸表の各項目の金額に比例した面積を割り当てた財務諸表の視覚的表現である。一般論として、財務諸表においては、金額の大きい項目が重要であり、金額の小さい項目はあまり重要ではない。そこで、金額の大きい項目を目立つように大きく画こうというのが趣旨である。副次的な効果として、いろいろな項目の大小関係が一目でわかるので、財務体質やビジネス・モデルが一目でわかるようになる。

10

15

## 比例縮尺財務諸表の作り方の 1 例

- 1 A4 のコピー用紙を用意する。
- 2 連結貸借対照表の総資産と連結損益計算書の売上高のどちらか大きいほうを選ぶ。
- 3 総資産が大きいときは次のようにする。（総資産の 5%未満の項目は無視する。） 20
  - a. 連結貸借対照表を図示するため、横長においた A4 用紙の左側に縦幅 10cm、横幅 8cm のボックス図を画く。
  - b. ボックス図の真ん中に縦線を入れて、縦幅 10cm、横幅 4cm のボックス図を 2 つ繋いだ図にする。
  - c. 連結貸借対照表の項目のうち、意味の近いものをまとめるなど、項目を組み替える。
  - d. 各項目の総資産に対する割合を計算し、その割合 × 10cm の長さのスペースを区切って、 25

そこに項目名と金額を書き込む。資産の項目は左、負債と純資産の項目は右のボックスに入れる。

このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール教授 太田康広がクラス討議の資料として作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒 223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 太田康広（2024 年 11 月作成）